

# 令和6年度 第3回 豊田市猿投台地域会議 会議録

開催日時	令和6年7月18日(木)	開会	閉会
		午後7時	午後8時10分
会場	猿投台交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：18人		
	会長：伊藤 昌明 副会長：河合 好金		
	委員：井口 俊一 伊藤 正史 加藤 明彦 北川 勝男 古賀 親 呉山 永石 三田 美恵子 清水 有樹 末廣 洋兒 鈴木 光司 外輪 ルリ子 塚本 政幸 中根 秀樹 原田 千枝美 春木 俊弘 藤中 佐織		
欠席者	1名(本多 謙二)		
傍聴者	なし		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、梅村副支所長、宮石担当長、古橋主査		
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 豊田市民の誓い(唱和)</li> <li>2 会長あいさつ</li> <li>3 「第9次豊田市総合計画」に関する諮問について</li> <li>4 令和7年度以降の地域課題解決事業について</li> <li>5 令和6年度の地域課題解決事業について</li> <li>6 わくわく事業現場訪問について</li> <li>7 情報共有・事務連絡</li> </ol>		

## ■議事(要約)

### 3 「第9次豊田市総合計画」に関する諮問について

- ・事務局が資料に基づき説明  
意見、質問なし

### 4 令和7年度以降の地域課題解決事業について

- ・事務局が資料に基づき説明  
委員：そもそもDXとはどういう意味か。  
事務局：DXとはデジタルトランスフォーメーションの略称でデジタル技術を活用し(事業)効果を高めるといった意味合いがある。Xはトランス、横断するという意味の略称で使われている。  
委員：自分たちにはデジタルコンテンツを作る技術はない。委員の役割は、こんなことが出来るとよいなどのアイデア出しの部分になるのか。  
事務局：そのとおりである。  
結論：事業案1、2について、提言に基づく多世代交流事業としてふさわしい事業の選択をワークシートで実施した。

## 5 令和6年度の地域課題解決事業について

### ・事務局が資料に基づき説明

ハード対策と並行して、交通安全意識向上のための啓発事業を実施するため、各委員に交通安全、速度抑制など有効と思われる事業のアイデア出しを実施した。

委員：事務局の説明にあったハード対策の進捗はいかがか。

事務局：先日、まずは地域の状況について国と共有した。今後、正式な回答を求めています。

委員：ハード対策については、地域会議ではなく別団体を組織し、国に要望していくべきだと思う。

委員：今後も地域会議で進捗報告をお願いしたい。

委員：ソフト事業を検討するにあたり、まずは昨年度作成した対象区域のイメージパースを各委員に紙で共有してほしい。事業のアイデア出しは、次回以降でもよいのではないか。

委員：書ける場合については、今日提出してもよいのではないか。

事務局：今日提出された意見は、とりまとめて、来月資料として提示させていただく。提出されない委員は、来月の会議で集めさせていただきたい。

## 6 わくわく事業現場訪問について

### ・下越戸地区まちづくり協議会

上記団体の活動状況を事務局より報告

## 7 情報共有・事務連絡

(次回の予定)

日時：令和6年8月29日（木）午後7時から

場所：猿投台交流館1階 多目的ホール